

 にいみ

# 市議会だより

2019年5月

第5号

新見市議会広報紙

3月定例会



4月11日の入園式を終えた翌日、園庭で元気いっぱい遊ぶ哲西認定こども園の園児。新見市民の宝である子ども達が夢と希望をもって健やかに育まれるようにと、5月5日に「新見市子ども条例」が施行されます。全市民で、子ども達の力強い成長を支えていきましょう。

16	15	14	9	7	6	4	3	2			
編集後記	議会Q&A	にーみんの	議長等の活動報告	コラム	一般質問（個人質問）	一般質問（代表質問）	行政視察の受け入れ	常任委員会	3月定例会審議結果	3月定例会審議内容	目次

# 平成31年 3月定例会 審議内容

## 災害復旧対策費19億6千万円 新年度当初予算に

### 新見市子ども条例を制定

平成31年3月定例会は2月26日から3月22日まで開催され、条例17件、平成31年度当初予算11件、平成30年度補正予算10件、人事案件3件、その他議案5件、陳情2件、委員会発議案2件を審議しました。主な議案について紹介します。

#### 条例第10号 新見市大佐山野外活動施設条例の全部を改正する条例

大佐山山頂施設で、今後利用が見込めない施設を廃止しました。

#### 条例第14号 新見市保育所条例の一部を改正する条例

萬歳保育所を廃止としました。

#### 条例第15号 哲多青年館条例を廃止する条例

今後の利用が見込めない哲多青年館を廃止しました。

#### 新年度予算

#### 予算第1号 平成31年度新見市一般会計予算

予算総額は、前年度に比べ8.8%増の253億3596万円となっています。主な事業は次のとおりです。

#### ●小規模多機能自治一括交付金事業 651万円

新見市版地域共生社会構築計画に

基つき、小規模多機能自治に取り組む地域運営組織に財政支援として、使途に必要な以上の制限を設けない一括交付金を交付します。

#### ●カルスト台共立歯科診療所機器等整備事業 2970万円

平成32年4月に土橋に再開予定のカルスト台共立歯科診療所の施設整備に対して助成します。

#### ●成年後見制度法人後見支援事業 522万円

高齢者や障害者等の権利擁護を図るため、法人後見事業専門員の配置支援員の育成、制度利用相談・促進などの権利擁護体制整備と適正実施を支援します。

#### ●神郷温泉バイオマスボイラ導入事業 8650万円

二酸化炭素排出抑制と林業振興のため、木質未利用材を活用した木質バイオマスボイラを神郷温泉に導入します。

#### ●インクルーシブ教育推進事業 4079万円

障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が可能な限りともに学ぶインクルーシブ教育システムを構築するため、思誠小学校内に新見市特別支援教育推進センターを設置し、市内の特別支援教育の推進、就学前幼児の発達支援などの多様な学びの

場をつくります。

#### ●学校給食共同調理場整備事業 7億2042万円

市内の学校給食共同調理場と小学校の給食調理場を集約するため、旧正田小学校跡地に新たな学校給食共同調理場を整備します。

#### ●千屋公民館改築事業 2億4503万円

千屋公民館を解体した跡地に改築します。

#### ●新見駅バリアフリー化検討事業 854万円

JR新見駅のバリアフリー化の手法などを検討するため、整備イメージ図の作成を行います。

#### 補正予算

#### 予算第12号 平成30年度新見市一般会計補正予算(第6号)

執行額が確定したことに伴う補正予算のほか、主に次の事業の補正予算が審議されました。

#### ●プレミアム付商品券事業 278万円

消費税引き上げに伴う影響緩和策として、低所得者や子育て世代に対して、プレミアム付商品券を発行する準備費用です。

#### ●小学校ブロック塀改修事業 883万円

#### 条例 条例第3号 新見市一般職の任期付職員採用等に関する条例

高度な知識経験や優れた見識を有する人を、任期を定めて一般職員として採用できることになりました。

#### 条例第8号 新見市豊かな森のぬくもり基金条例

4月から制度が開始された森林環境譲与税を基にして、木材利用の促進や普及啓発、人材育成などの森林整備の促進を図るために基金を設置しました。

児童の安全のため、小学校のプールに設置している老朽化したブロック塀を解体し、フェンスを設置します。(5校)

**その他議案**

**議案第5号 国際貢献大学校メディカルクリニックの指定管理者の指定について**

今までの指定管理者と同じ医療法人国際貢献大学校医療機構が指定管理者となりました。指定管理期間は5年間です。

**発議第1号 新見市議会委員会条例の一部を改正する条例**

議会の調査機能の充実と活発な施策立案に繋げるため、現在の3常任委員会(総務産建常任委員会・文教福祉常任委員会・予算決算常任委員会)を4常任委員会(総務消防常任委員会・文教福祉常任委員会・産業建設常任委員会・予算決算常任委員会)としました。

**発議第2号 新見市子ども条例**

文教福祉常任委員会発議による新見市子ども条例を全会一致で可決しました。

**請願・陳情**

**陳情第8号 新見市の医療に関する**

**広報活動の陳情**

新見高校生徒から陳情のあった、医療に関する広報の充実を求める陳情は全会一致で採択しました。

**陳情第9号 後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める陳情書**

慎重に審査の結果、採択6名、不採択10名で不採択となりました。

**人事案件**

**人事第1号 副市長の選任同意について**

元岡山県職員の大森利弘氏の選任に同意しました。

**人事第2号 固定資産評価員の選任同意について**

副市長となった大森利弘氏の選任に同意しました。

**人事第3号 教育委員会委員の任命同意について**

長谷川綾氏の任命に同意しました。

**人事第4号 人権擁護委員の候補者の推薦について**

川井正敏氏(豊永宇山)・仲田三千子氏(高尾)・橋本卓士氏(正田)の推薦に同意しました。

## 平成31年3月定例会審議結果

●全会一致で可決等したもの

条例 16件・予算 19件・人事 4件・その他議案 5件・陳情 1件

●賛否が分かれたもの

		議席番号																
議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		西川照雄	岡崎裕生	古川英明	宮本英基	小河俊文	岩田秀之	石田實	坂東義生	山本昌次	杉本美智子	難波孝一	小郷昌一	林光和	塩飽満路	橋本亨子	榎日出男	藤澤正則
条例第14号	新見市保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
予算第1号	平成31年度新見市一般会計予算	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
予算第12号	平成30年度新見市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
陳情第9号	「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」陳情書	○	○	×	×	×		×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×

※「○」は賛成、「×」は反対。議長は表決に加わりません。

## 建設産業 常務委員会

新見市一般職の任期付  
職員の採用等に関する  
条例について審査

総務産建常任委員会は、3月11日に開催し、3月議会に上程され付託された17議案を審査しました。その後、執行部からの報告事項と委員からの調査を行いました。主な内容を紹介します。

### 付託事件の審査

各議案について、執行部の説明を聴取し、慎重に審査した結果、条例13件及び議案4件については原案のとおり可決しました。

「新見市一般職の任期付職員の採用等に関する条例」では委員から、詳しい対象者、臨時職員や嘱託職員との違いや退職手当等の条件などの説明を求めました。また、「新見市火災予防条例の一部を改正する条例」では防火対象物の範囲や違反の想定の説明を求めるなど活発な審議がなされました。

### 報告事項について

執行部より、新見市地域防災計画の見直し、総代会の開催日程、新見

駅西エリア整備事業の地域説明会、第3次新見市総合振興計画(案)の策定について、まちづくり審議会について、小規模多機能自治一括交付金制度の創設、新見市公共施設機能再配置計画の策定の配布、ウツドスタート事業、木のおもちゃ試作品完成、中国地方「道の駅連絡会」の開催、企業巡りバスツアーの開催、IJUターンの交付要綱の一部改正、資格取得費支給支援補助金の一部改正、中小企業大学校研修事業補助金の一部改正、新見市農業共済事業の廃止に伴う財産の処分、水道事業広域連携に関する報告書、平成13年度公共下水道受益者負担金の訴訟について、新見市消防操法訓練大会の開催日程などが報告されました。

### 調査事件について

委員問「新見駅西エリアに家賃の高い建物が整備されてしまいうつなで、大学の寮を作るとか家賃を安くする考えはないか。」

答弁「民間事業でやるので、ある程度の限界はある。事業者の意見は聞いていく。」

### 委員問「千屋午の増頭はどのくらいか。」

答弁「平成26年度で3100頭ぐらい。毎年2月1日現在で計算してい

るので詳しくは4月以降に出る。」

委員問「主要地方道新見勝山線、熊谷郵便局付近の山に株式会社井倉洞の看板があるが、木が大きくなりすぎてよく見えないので伐採はできないのか。」

答弁「状況は把握しているので貸主に伐採のお願いをしている。」

委員問「若い消防署職員が辞めている理由を把握しているか。また離職後に他市の消防署に就職している要因の調査は。」

答弁「体調面や家庭の事情も理由としてある。採用時には新見市に定住するようにお願いしている。勤務実態調査も行っている。」

## 文教福祉 常任委員会

新見高校生からの陳  
情を審査

文教福祉常任委員会は、3月12日に開催し、3月議会に上程され付託された陳情2件と4議案を審査しました。その後、執行部からの報告と委員からの調査を行いました。主な内容を紹介します。

### 付託事件の審査

最初に陳情2件を審査し、「新見市の医療に関する広報活動の陳情」は全会一致で採択、「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」陳情書は、不採択が4名、採択が3名で不採択となりました。



「新見市の医療に関する広報活動の陳情」の趣旨説明をする  
新見高校南校地の生徒の皆さん

その後休憩をとり、条例廃止議案が上程されている哲多青年館と名称変更が上程されている哲多全天候型ゲートボール場を現地調査しました。現地調査の後、委員会を再開し、上程されている「新見市保育所条例の一部を改正する条例」「新見市哲多青年館条例を廃止する条例」「新

見市哲多体育施設条例の一部を改正する条例」及び「国際貢献大学校メデイカルクリニックの指定管理者の指定について」の議案4件を審査し、執行部の説明を聴取し、慎重に審査した結果全ての議案を可決しました。



哲多青年館の現地調査

このうち「新見市保育所条例の一部を改正する条例」は、4月から萬歳保育所を廃止する内容で、委員からは地域や保護者との協議はしっかりとされたのか、などの質疑があり活発な議論がされました。

## 報告事項について

新学校給食調理場の統合計画案や、教育相談員の実績、インクルーシブ

教育推進事業について、キャリア教育推進事業について、災害廃棄物の状況、7月豪雨に伴う国民健康保険税の負担軽減の延長について、市内診療所の医療機器更新について、低所得者等の消費税軽減措置に伴うプレミアム商品券について、認可外保育所への入園数などの報告がありました。委員からは、消費税軽減措置のプレミアム商品券の具体的な方策やインクルーシブ教育の教員配置やその体制などについて活発な審議がされました。

## 調査事件について

委員問 「施設を売却する場合、担当課だけでなく他の課との協議も必要ではないか。」

答弁 「ご意見はもつともであり、検討する。」

委員問 「幼児教育無償化の該当者漏れは想定されるか。」

答弁 「無償化の対象から外れる施設はない。」

委員問 「新見市は既に幼児教育の無償化を実施しているが、市財政に与える影響は。」

答弁 「市財政負担が軽減されると思うが、詳細はこれから算定していく。」

委員問 「保育所の園庭解放はできないか。」

答弁 「既に認定こども園と保育所の8カ所で園庭解放をしている。」

委員問 「新見公民館の駐車場に障害者専用スペースがない。また駐車場が少ないが、周辺の駐車場を借用するなどの方策はとれないか。」

答弁 「障害者のための駐車場スペース表示はしていないが、点字ブロックを設置している。また、周辺駐車場の借用については、現在利用者からの要望はない。」

委員問 「相続では様々な手続きが必要だが、死亡届が出された際にワンストップで手続きができるようにならないか。」

答弁 「相続に関する窓口でのお知らせは必要であり、検討していく。」

## 予算決算 常任委員会

### 平成31年度当初予算 を審査

予算決算常任委員会は3月13日、14日に開催し、3月議会に上程され付託された平成31年度当初予算案11件と、平成30年度補正予算案10件を審査しました。

このうち予算第1号平成31年度新見市一般会計予算では反対討論で「財政的に危機感が感じられない。安易な基金取り崩しが見られる。税の徴収の取り組み方が甘い。小規模多機能自治一括交付金の政策は自治運営組織ができていく周辺地域が取り残される恐れがある。地域おこし協力隊の定着が計画通りに進んでおらず効果に疑問がある。」また、予算第12号平成30年度新見市一般会計補正予算(第6号)では「消費税増税の経済対策が計上されているが、効果は見込めず賛成できない」と意見が出しましたが、賛成多数で原案どおり可決されました。委員会で質疑した施策の一部を紹介します。

## 【審査した施策の一部】

### 小規模多機能自治一括交付金

651万3千円

地域運営組織の地域将来計画に基づき交付される用途の自由度が高い一括交付金。積算は均等割・人口割のほかに、地域づくり推進事業補助金、防犯灯設置費補助金、敬老会補助金を含む。将来計画の中で資金を積み立てる必要が認められた場合は積立金も認める。新年度予算は3団体分。市は地域の課題解決に自主的に取り組む地域運営組織を、将来的には市内全域に設立したいと考えて、

新年度は地域担当職員と生活支援コーナーディネーターを増員する。将来は各自治運営組織の活動報告会開催も検討している。

【総合政策課 ☎ 26143】

やる気×元気 コミュニティビジネス応援事業補助金 100万円

地域の課題解決策や資源活用方法を地域住民自ら検討・開発し、6次産業化などで収益を得る事業の研修、研究、販路開拓、講師謝礼などにかかる経費の内50万円を上限に補助する。

【総合政策課 ☎ 26143】

資格取得費支援補助金

315万円

勤労者が資格取得する際に経費の半額、上限10万円を補助する。資格とは大型二種免許、玉掛け、草刈り技能など39種。会社が負担する場合は会社に、自己負担の場合は本人に補助される。

【商工観光課 ☎ 26137】

親元就農者支援助成金

29万2千円

親元就農者が農業大学等で研修する際の交通費、書籍代の半額を助成する。予算は3人分。

【農林課 ☎ 26133】

新見市観光協会補助金

1951万円

新見市観光協会は新年度に一般社団法人化し、事務所移転することによりさらに事業の幅が広がる計画がある。運営費・維持費・広報費のほか専門人材配置、予約型観光タクシー事業、外部アドバイザー配置経費などを補助対象とした。

木谷川沿い街路灯設置事業

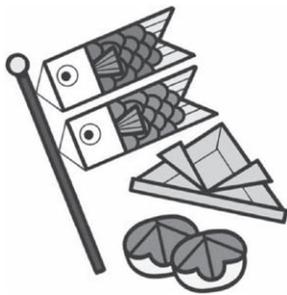
600万円

新見高校生からの陳情採択をうけて、消防署裏から新見高校南校地までの市道に、ふるさと新見応援基金を活用し街路灯を設置することにより、新見高校を支援する。

インクルーシブ教育推進事業

4079万8千円

思誠小学校内に特別支援教育推進センターを設置し、センターの管理と各学校長との連絡調整をするセンター長のほか、常勤・非常勤の支援員や講師を雇用する。新見公立大学とも連携しながら各幼児教育保育施設と小中学校を巡回し、特別支援の相談対応と研究をする。



## ようこそ新見市へ

～行政視察の受け入れ～

### ICT教育の推進について

鹿児島県薩摩川内市議会 会派

1月25日、鹿児島県薩摩川内市議会の議員8人が「ICT教育の推進について」調査のため哲西中学校へ視察に訪れました。

当日は、教育委員会の担当者が市の取り組みについて説明し、哲西中学校の藤野教頭先生が哲西中学校のICT活用について説明された後、意見交換を行いました。

その後、タブレットPCや電子黒板を活用した授業を参観されました。



### 図書館開館後の現状について

高知県香美市議会 教育厚生常任委員会

2月6日、高知県香美市議会の教育厚生常任委員会の委員8人と香美市職員が「図書館開館後の現状について」調査のため新見市立中央図書館へ視察に訪れました。

当日は、教育委員会の担当者及び図書館職員が説明した後、館内の視察も行われました。

香美市では、図書館の建設予定があるということで、大変熱心な意見交換が行われました。



# 一般質問

※質問した議員が原稿の執筆と校正を行っています。

## 代表質問

会派名 みんなのいみ



おかざき ひろお  
岡崎 裕生  
議員

### 行政改革の方向性について

**問** 職員数の適正管理ができていますか。

**答** 合併当時に策定した定員適正化計画に掲げた目標数値は合併後5年後に達成しており、現在もそれ以上の削減数を維持している。

**問** 市役所内部人材をどう育成していくのか。

**答** 全国研修や県の研修センター等に積極的に職員を派遣し、市も独自に階層別・階級別の研修を継続実施

している。配置転換は、一定期間をめぐりに行い、適材適所への配置を行っている。

**問** 新見市版地域共生社会の構築や大学を生かしたまちづくりを目指すためには、新たな行政機構を構築する必要はあるのではないかと。

**答** 複数の所属に係する施策については、所属間での協議や横断的な内部組織を設けた協議の場を設け、全庁的に意識統一を図りながら事業を進めている。今後、市民ニーズを的確に捉え本市の施策に対応した組織構成となるよう、必要に応じて見直しを行いたい。

**問** 現状で見える化は前進しているのか。

**答** この度も、政策の立案過程である「施策の重要方針」「施策調書」等も公開しており、「見える化」は前進している。

**問** 住民参加による協働のまちづくりが、できているのか。

**答** 「新見市版地域共生社会構築計画」を策定し、各地域の実情に応じた活動を展開している。引き続き、

地域共生社会の実現に全力で取り組んでいく。

### 農業振興について

**問** 就農を希望するJターン者への就農支援や市内農家へのUターン者の掘り起こし、新規就農者に対する支援をどう進めていくのか。

**答** 随時の就農相談に加え、ナイター就農相談会や就農準備講座、J Aと連携した資金援助・住宅支援等でサポートする。

**問** 農畜産物ブランド力強化の方向性と、これからの展開は。

**答** J Aの営農指導や行政による農地・施設の基盤整備による支援、市場へのトップセールスやイベント等でのPRに取り組んでいる。来年4月に合併するJ Aとも連携をとりながら販路拡大やブランド力向上に力強く取り組みたい。

### 教育の充実について

**問** 本市のインクルーシブ教育構築に関する方針と具体的な計画は。

**答** 思誠小学校内に「特別支援教育推進センター」を設置し、専門性の高い教員

の配置を行い、特別支援教育の充実を図る。また、公立大学や支援学校とも協力して、教職員の特別支援に関する知識・技能を高めていく。

**問** プログラミング教育の現状と方向性について示していただきたい。

**答** プログラミング教育のねらいは、プログラミングを体験する中で論理的な思考を育み、よりよい社会を築こうとする態度を育成することである。引き続き、本市の子どもたちにITスキルの基礎となる力を育成していきたい。



野馳小学校プログラミング学習



しわく みつじ  
**塩飽 満路**  
議員

**平成31年度市長施政方針について**

**問** 総合振興計画における市長の構想は。

**答** 新たな総合振興計画策定に向けた考え方は新見市まちづくり基本条例に示された理念である「人と環境の調和」「自主自立と協働」「地域資源の活用」に加え、持続的な社会づくりを示す「未来への展望と責任」の4点を計画の基本理念として考えている。計画の基本理念策定に当たっては「人と地域が輝き、未来へつながるまち」をビジョンに掲げ、市民と対話を持ちながら誰もが夢と希望が持てる新たな計画に取り組んでいく。

**問** 長期的なまちづくりについての市長の構想は。まず、新見駅周辺の将来について問う。

**答** 市街地の拡大や駅利用者減少、

人口減少などが相まって、近年は、空き家や空き店舗が増加するなど、駅周辺地域の活力低下がみられる状況下、現行の都市計画マスタープランは、新見駅周辺のまちづくりの主要テーマを「新見市の表玄関としての顔づくり、にぎわい交流地点の形成」と定めており、駅周辺地域をにぎわいと交流が生まれる場としていくには、まずは居住人口の増加を図る必要があると考えている。

まずは、新見公立大学の完全4年制への移行に伴って増加する学生の居住を誘導・整備することを目標に、駅西側に隣接する西日本旅客鉄道株式会社所有地を本市が購入し、用地を提供することにより、民間活力による学生の居住施設整備を行う計画としている。また、これに合わせ、道路や上下水道などの基盤整備も行う計画としている。駅西エリアを含む駅周辺地域のまちづくりについては、都市計画マスタープランに示している、まちづくりの方向性を基本に、その具体化に向けた検討を進めており、その中でJ-R新見駅バリアフリー化も検討がなされるべき項目と考えている。

**問** 新見市の高等教育の新ステージについて問う。

**答** 新見公立大学が、市民の誇りと

なり、全国から学生が集う大学となっていくためには、学舎を含めた周辺環境の整備を行っていくことも重要であると考えている。大学が行う環境整備の取り組みへの支援についても、大学と協議を持ちながら検討していきたいと考えている。

**問** 16年後を織り込んだ都市計画（道路、区画整理）及び金谷バイパスと区画整理事業について問う。

**答** 金谷バイパスは正田から新見駅前に通じる一体的な交通ネットワークの構築や防災機能の向上を図るためにも必要と考える。区画整理事業も金谷バイパスとの相乗効果による将来の有効な土地利用と考える。現在、見直しを行っている都市計画マスタープランに織り込み、事業の具体化を視野に検討を進めていきたいと考えている。

**問** 新見市版地域共生社会構築と推進について問う。

**答** 地域自らが夢と希望を持って将来展望を

描きながら地域課題の解決や地域の特徴を活かした地域づくりに取り組むことが何より重要と考える。それぞれの地域で地域運営組織の設立や進むべき方向を示した将来計画の策定とその実現に向けた取り組みは、市を挙げて支援していく。



国道180号側から見た金谷地区

## 個人質問



橋本 亨子  
議員

**高すぎる国保税の引き下げの取り組みへの考えは**

**問** 国保税の引き下げを求める声は大変切実な事態になっているが、今後の1人当たりの国保税の見通しはどうか。

**答** 増額していく見通しになる。

**問** 一般会計から繰り入れは今後どうなるか。

**答** 広域化前の平成29年度は約1億7千万円。広域化後は、平成30年度は7千万円。平成31年度6千万円。平成32年度5千万円。平成33年度4千万円。平成34年度2千万円の予定で、その後は繰り入れをしない見通しだ。

**問** 国保は、年齢構成が高く無職者や非正規労働者など低所得の加入者が多い構造で、1人当たり平均所得は低い。保険料の負担率が最も高い。また、均等割（人头税）の仕組みも

あり、子育て世帯は子供の人数が多い程負担が増す。子育て支援に市独自に均等割の全額免除の実施を。

**答** 子育て世代の負担軽減をすることは大切なことだが、市単独で実施する考えはない。

**問** 公的医療保険は、全ての人に平等に医療を保障するためのものであり、医療保険間の負担の公平を図るには協会けんぽ並みへの引き下げが必要ではないか。

**答** 国による財政支援の拡充と国保財政基盤の強化を市長会を通じて国に要望している。

**防災・減災対策への取り組みの推進を**

**問** 昨年発生した災害の復旧見通しの状況は。

**答** 農地・農業用施設244か所を調査完了。現在11件入札完了。公共土木施設289件調査完了。発注済31件を含め全面通行止めや大型土のうで仮復旧した道路、背後に建物がある河川を優先し今年度90件発注予定。下広瀬の堤防のかさ上げは県の方で検証を行い、今後必要であれば対策を考える。唐松川合の所は小坂部川の方を今年度更に浚渫を行う。幸田手前のくさまやの前の中州は、樹木の伐採を要望しているが今後どうするかは未定。



日出男  
議員

**障がい者支援について**

**問** 障がい者の就労を積極的に進めべきと考えますが。

**答** 本市では、新見市障がい者地域活動支援センター「ほほえみ広場にいみ」を拠点として、同センター内の「障がい者就業・生活支援センター新見相談室」等と連携し、障がい者就職面接会や就労面接会の開催を行っている。また、昨年12月から、「ほほえみ広場にいみ」で月に一度、新たに就職相談会を開催している。この就職相談会には商工観光課の就職相談員も参加しており、企業等の障がい者雇用への理解促進を図ると共に、個々の状況に合わせた就労支援を一層図っていくこととしている。

**問** 重症心身障がい児者に対する支援は、重症心身障がい児者のサービ

ス提供をしていた旭川荘「松山通園センター」が本年3月をもって撤退するが、  
**答** 重症心身障がい児者に対するリ

ハビリ等のサービスは、新見市地域福祉センター内で、高梁市の旭川荘松山通園センターが実施されているが、本年度で撤退することになった。本市として、来年度のサービスを継続するため、岡山市の旭川荘から理学療法士を派遣していただき、リハビリを実施する。

**子育て支援について**

**問** 育休退園について。近隣の市町は育休退園制度を廃止しているが、本市としての考えは。

**答** より一層子どもを産み育てやすい環境を確保するため、育休退園の廃止は重要なことと捉えており、まずは個別の状況についての聞き取りを十分に行い、引き続き保育を行うなど、より柔軟な対応に努めていく。なお、産み育てやすい環境を確保するため、平成32年度からの育休退園廃止に向けて取り組んでいきたいと考えている。

### 【その他質問の項目】

新見駅西エリアの整備について  
交流人口の拡大について  
産業遺産の推進について  
橋梁の拡幅について



なんば こういち  
難波 孝一  
議員

**大佐山の頂上周辺にある施設の今後について**

**問** 施設として残す建物と撤去する建物は。

**答** センターハウスとあすなるタワーは残して、登山者の一時避難所やトイレとして活用する。他の施設は解体撤去する。



大佐山の頂上から見た日の出と雲海

**満奇洞について**

**問** 満奇洞の夏期の入洞時間の延長は。

**答** 昨年は豪雨災害の影響で中止に

なったが、今年の実施する予定。

**主要地方道新見勝山線の小南地区の歩道設置工事について**

**問** 歩道設置の継続工事の再開予定は。

**答** 昨年の7月豪雨の影響で、遅れているとのこと。早急に工事の開始を県に要望する。

**問** 歩道設置区間の用地の売収率は。約90パーセントできているとのこと。

**持ち手付ごみ袋の販売について**

**問** 新しいごみ袋の販売はいつから。7月から販売する予定で、持ち手付きでマチが付いて容量は3種類で透明白色付とする。価格は検討中。

**学校給食センターについて**

**問** 新しい給食センターの完成予定は。

**答** 来年の7月頃完成して、2学期からの稼働を目指している。

**5つの旧学校給食共同調理場の再利用は。**

**答** 神郷学校給食調理場は、保育所や認定こども園の給食調理場として考えているが、その他の施設は老朽化も進んでおり再利用は考えていない。



にしかわ てるお  
西川 照雄  
議員

**成年後見制度法人後見支援事業について**

**問** 成年後見制度に関して新見市の現状は。

**答** 岡山県によると、本市で成年後見制度を利用されている人は、平成30年11月時点で48人とのこと。

**法人後見支援事業は、どのような内容か。**

**答** 法人後見を実施する事業所を支援するもので、取り組みとしては、法人後見専門員の配置、成年後見制度の利用相談、支援検討会の開催など。

**検討会の内容は。**

**答** 弁護士、司法書士等専門的な立場から本人の判断能力の程度や世帯状況等を総合的に判断し、支援の方向性や方法を検討する。

**市民後見人養成研修会助成事業について**

**問** 市民後見人研修助成の対象者は。

**答** 地域における実践活動を行う意思のある人で、岡山県等が実施する市民後見人養成講座を修了され、市民後見人として本市に登録した人と考えている。

**木造住宅の耐震診断と耐震改修について**

**問** 新見市における耐震診断の実績は。

**答** 平成18年度からの実績は、耐震診断39件、補強計画20件、耐震改修10件。

**木造住宅の耐震補助事業の住民向け周知はどのように行われているのか。**

**答** 住民向けの周知については、毎年の行政地区総代会と年2回の市報掲載及びホームページによるもの。

**科学的に検証された耐震改修を推進することで、地震に備え、災害に強いまちづくりにつながるものと考えているが、耐震改修をさらに促すためには。**

**答** 公民館18箇所、自主防災組織22団体に向け、無料の耐震化アドバイザー事業を案内し、耐震説明会の開催を企画するなど、啓発活動を行う。



すぎもと みちこ  
杉本 美智子  
議員

### 子育て支援について

**問** 放課後児童クラブの経理事務負担を軽減するべき。対策は。

**答** 外部委託が有効。検討を進める。

**問** ファミリー・サポート・センター事業をもっと周知し、使いやすくするよう工夫を。

**答** 4月からいみ子育てカレッジ「にこたん」に事務局を移し、アドバイザーも配置し利便性を高める。周知についても努めていく。

**問** 緊急な出産時で自家用車等での通院ができない場合に、救急車の利用をしやすいとする「妊婦事前登録制度」の検討はできないか。

**答** 前向きに検討していく。

**問** 育児休業制度を非正社員まで拡大していただくよう事業所に働きかけできないか。

**答** 雇用の確保にもなるので働きかける。

### 新見高校の存続について

**問** 県教育委員会への働きかけは。

**答** 5月と10月に県教育委員会からヒアリングがあり、現状のままの存続を申し入れた。県市長会からも少人数でも質の高い教育を受けられるよう国に要望した。

**問** 高校存続について市長の考えは。

**答** 新見高校は現状のままなくてはならない。そのために魅力ある学校づくりをしていただき進路希望者を増やしたい。現在、魅力向上に向けた補助事業の説明会に出向き、地域の課題解決に高校の力を活かす取り組み等について研究している。主体はあくまでも高校である。

**問** 他市では市町村が高校への援助や地域との連携強化に取り組んでいる。新見市ももっと市長が高校存続の機運をリードするべき。少子化が進み現状維持は現実的ではない。もっと現実的な検討が必要だと考える。また、総合的に子育て支援について市長の考えを問う。

**答** 子どもは地域の宝。健やかに育てていただきたい。女性の社会進出が進みニーズは多様化している。社会全体で子育てしやすい環境を整備していきたい。



ふじさわ まさのり  
藤澤 正則  
議員

### 平成31年度予算内容中行政経営と行政運営上の課題について

**問** 財政について。

**答** 地方税が少なく、交付税に依存した構造。人口減少、高齢化、生産年齢の減少が続くと税収入の減少となり厳しい財政状況となると考えている。

**問** 平成29年度決算における未収金額は。

**答** 約1億8400万円。

**問** 未収金に対する市長の考えは。

**答** 公平、公正な負担を。税務課を中心に横断的に収納事務を鋭意頑張っている。

**問** 税収納の組織が必要ではないか。

**答** もう少し現状で取り組んでいきたい。

**問** 組織（人事）については、専門職はその部署に配置すべき。特に専門職（消防職）については、職務遂行の士気に関わるのでは。

**答** 行政経験を重ねると共に、スキ

ルアップを図る為に積極的な人事配置を行っている。

### 新見市版地域共生社会構築計画の詳細な説明を求める

**答** 人口減少化におけるセーフティネットの仕組みとして、小規模多機能自治の考えを基に人と人の繋がりや、地域活力と自治力を取り戻そうとする取り組みである。

**問** 予算計上額の内訳と地区名は。

**答** 唐松地区200万円・法曾地区150万円・田治部地区180万円。

**問** 想定する将来の団体数と予算額は。

**答** 40団体。約6500万円。

**問** その原資は。

**答** 地域づくり基金を使用したい。

**問** ふるさと納税額の二分の一を地域に配分しては。

**答** 検討している。

### 市長の公約である「市政の見える化」で、これまでの取り組み事例は

**答** 行政報告、各審議会の政策立案や審査を公開している。またその会議録もホームページや市報などで公開している。その結果、お便りなどでまちづくりに対するご提案の数は昨年比8割の増。市民の市政に関する関心が高まったものと考えている。



はやし みつかず  
林 光和  
議員

### 新見公立大学への学生への支援について

**問** 現在、行っている学生への支援内容は。

**答** 大学運営費に充てる運営交付金を交付している。これにより、学生の学修環境の整備や、授業料を他の公立大学に比べ安く設定できている。

**問** 市は大学を応援しているという姿勢を見せるべきで、他に、学生への支援はあるか。

**答** 学生を応援する体制づくりは、意義あることなので、それに向けた条例を制定する具体的協議の場を設けていきたい。

**問** 新見駅西エリアにおける学生アパート建設に向けた計画は。

**答** 市は、学生の居住施設を整備・運営する民間事業者を公募するための実施計画案作成に向け、地元説明を次週に行う。新規に1000戸程度の居室を予定している。遅くとも、当大学の学生が現在よりも280人

増加することが見込まれる平成34年度までに整備完了するよう考えている。

### 昨年の7月豪雨により被害を受けた井倉洞周辺及び羅生門周辺の今後について

**問** 井倉洞周辺の復興状況と、復興の具体的工法、形態とその時期は。

**答** 昨年の豪雨で甚大な被害を受けた。井倉洞前事業者との協議のため、復興構想図を作成している。これをもとに、井倉洞前事業者と地域、国や県とともに、復興方策について協議していく。形態は、地盤のかさ上げを考えており、数年はかかるものと考えている。

**問** 7月の豪雨により破損した羅生門周辺の遊歩道の復旧について。

**答** 羅生門については、近年、落石が確認され、安全の面から原状回復工事は難しい。平成31年度に、専門家、県、地元関係者等で構成する、羅生門保護対策協議会を設立し復旧作業の方向性を定める。



ふるかわ ひであき  
古川 英明  
議員

### 子育て支援について

**問** 乳幼児から中学校3年生までの医療費全額助成の内訳は。

**答** 平成29年度の総支出額は、9383万5千円で、県の補助額は1390万円、市の負担額は、7993万5千円となっている。

**問** 高校生までの医療費無料化の考えはないか。

**答** 本市では、医療費の助成制度のみに特化することなく、子育て支援の各種制度に取り組んでいる。高校生までの医療費無料化は、現在のところ考えていないが、情勢の変化に適切に対応していきたい。

**問** 放課後児童クラブ運営の改善点や課題は。

**答** 改善点は、登録児童数による開設要件の緩和、支援員等の賃金基準額の引き上げ、通勤手当の支給などである。課題としては、保護者の経理事務負担や支援員の確保である。

### 消防団員の待遇について

**問** 団員への報酬額は適正か。また、報酬の取り扱いは適正か。

**答** 合併時に設定したもので、適正と考える。取り扱いは、条例で、毎年度、各団員から提出される委任状により適正に支給している。

**問** 火災、捜索への出動手当はなぜ出せないのか。

**答** 団員は崇高なボランティア精神で日々活動されており、今のところ考えていない。

**問** 団員数、年齢構成の課題は。

**答** 課題は、団員の確保にあると考えている。

### 行政職員の資質向上について

**問** 行政職員に必要な資質とは。

**答** 政策形成や問題解決能力に加え、市民感覚や経営感覚を兼ね備え、豊かな発想と改革意識を持って職務を遂行する資質を求めている。

**問** 行政職員の研修の現状は。

**答** 県市町村職員研修センターで職能別や階層別研修に参加したり、新任の係長や課長も研修を受講したりしている。また、市独自でも新規職員の研修や、専門性を高める様々な研修を実施している。



ばんどう よしお  
坂東 義生  
議員

### 新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

**問** 池田市長のもとでの新しい創生総合戦略策定の考えはあるのか。

**答** 国からの詳細が示されていないが、来年度は現行戦略の総仕上げと位置づけ、目標達成へ全力で取り組んでいくとともに、新たな戦略の策定に向け施策の検討などを進めたい。人口減少に歯止めをかけること、人口減少社会に対応して、新見市を活性化することが大きな視点と考えている。

**問** 新しい戦略は市民が参画して作りあげていくという視点が必要だと考えるがどうか。

**答** 総合振興計画を見直す過程で市民との意見交換の場を想定しており、与えられた意見を戦略の見直しに活かしていく。

市民参画の観点は重要であり、限られた期間で最大限できるよう努めた。

### 少子化時代の活力ある学校教育について

**問** ふるさと教育の現状と今後の計画は。

**答** 塩から子や職場体験を行い、人材育成を図っている。今後も新見市の良さを実感できるふるさと教育を進めたい。

**問** 少人数学校のデメリットとメリットは。

**答** 集団規模が小さくなると学習や行事などが実施しにくいなどの課題があるが、一人ひとりに目が届きやすいことから、個々に応じた指導や様々な役割の経験など、少人数の学校だからできることもある。

**問** 児童・生徒数が減少していく中で少子化に対応した学校づくりは重要で喫緊の課題であるが教育委員会の考えは。

**答** 現在、学校統廃合計画は持っていない。統廃合を考える基準づくりよりも、小規模校を存続させる意義を明らかにするために、多くの人の意見をいただく会を設置することが必要だと思っている。現在ある学校をいかに地域の中で生かし、それぞれの地域を元気にしていくかという学校づくりが求められている。



いしだ みのる  
石田 寛  
議員

### 新見市消防操法訓練大会について

**問** 水出し操法訓練の実施にあたって、新たな大会会場とコースの整備を要するが市の対応は。

**答** 消防団が水出し操法を想定した検証を行っておられるので、消防団と協議しながら早急に場所を選定していきたい。

### 新見駅前の開発について

**問** 駅舎改修を含めた新見駅周辺開発の全体像は。西エリアの整備もさることながら、伯備線沿線の主要駅では取り残された感じもする新見駅。市民の皆さんから強い要望として、エレベーター設置等によるバリアフリー化や美術館方面に繋がる橋上化の要望がでてきている。新年度に若干の調査費的な予算を計上されてはいるが現段階でのJRとの協議の進捗状況は。

**答** 新見駅のバリアフリー化を望む利用者は多く、利便性向上のために

も取り組むべきと考える。平成29年度にJR西日本に要望し、その後、新見駅西エリア整備事業の中で協議もしている。来年度は工法検討などを行う新見駅バリアフリー化検討事業を実施したいと考える。西エリア整備事業は駅周辺のにぎわいを生み出す一環として学生の居住を整備するものなので、先行して行いたい。

### 将来に繋がる補助金の交付について

**問** 補助金事業の検証は。

**答** 協働のまちづくり交付金は地域内での助け合い事業など2事業を採択し、オール新見！公募型まちづくり事業は6件で自由な発想による幅広い取り組みが実施されている。やる気×元気×ユニティビジネス応援事業補助金はピオーネを活用したスムーズの開発・販売事業の1件、地域づくり推進事業補助金は地域の交流イベントなど約60件を採択。いづれも人口減少対策、協働によるまちづくりにつながるかと期待しているが、効果が現れるには時間を要する。年度ごとの事業実績を検証し、必要な見直しに取り組む。



こがわ としふみ  
小河 俊文  
議員

### 人口減少について

#### 問 移住定住支援策の成果は。

答 平成27年度から31年1月末までに、市内での暮らしを体験する、お試し暮らし支援事業は、55世帯が利用し、20世帯が移住した。空き家の購入、改修等の費用の一部を補助する空き家活用推進事業補助金は40世帯が利用した。移住交流支援センターが実施している、移住希望者の要望に沿ったオーダーメイドツアーには13世帯が利用し3世帯の移住につながっている。

#### 問 IJUターンの就業者以外の地元就職者への支援は。

答 IJUターンの就職奨励金は昨年5月の制度開始から29件を交付。住民票を異動していない大学生の市内就職については現在対象外だが、市外での在学や居住の確認ができる場合は、対象となるよう4月から制度改正を予定している。

#### 問 空き家利活用の支援は。

答 現在、移住者に対しては空き家

利用推進補助金があり空き家の購入、改修、家財整理を行う場合、経費の一部を補助しているが、市内在住の市民を対象を広げる考えはない。

### 旧市民会館について

#### 問 今後の方針は。

答 今後、解体も含めて検討するが、将来的な建設計画があれば撤去費用についても財政措置が取りやすい。



地域住民から解体撤去が熱望されている  
旧市民会館

### 市街地の農業用水路について

#### 問 組合員の減少と高齢化について。

答 市街地だけでなく市内全域での問題点だと捉えている、今後の推移を見守りたい。

### 【その他質問の項目】

#### 新見駅のバリアフリー化について

#### 中央商店街周辺の活性化について

## ゴミ

# 10連休はうれしい？

待ちに待った今年の10連休ですが、業種や立場によっては一概に嬉しいものではないようです。

朝日新聞社が昨年12月に実施した全国世論調査では、この連休が10連休になることについて、「うれしい」は35%で、「うれしくない」が45%。男性は「うれしい」43%が、「うれしくない」40%より少し多かった一方、女性は51%が「うれしくない」と答え、「うれしい」は28%にとどまりました。

「うれしい」は若年層ほど多く、18〜29歳は58%、30代は43%に対し、60代は25%、70歳以上は18%でした。職業別では事務・技術職の51%が「うれしい」と答える一方、製造・サービス従事者の「うれしい」は35%にとどまり、50%が「うれしくない」そうです。主婦層では53%が「うれしくない」と答えました。ある旅行会社の調査では「暦どおり10連休になりそう」と回答した人は35%にとどまりました。

この超大型連休を心から喜べる人は、どれだけいるのでしょうか。連休中も可燃ゴミは収集してもらえないのか、病院・銀行は日曜・祝日が休業になるとどうなるのか、などなど不安がよぎります。本市では連休中も可燃ゴミ収集は平常どおりのようですが、収集業者の方々も当然勤務です。介護・医療・サービス業・製造業・専門職の方々も、連休中も市民生活を支えてくださっています。

感謝の気持ちをもって、休める方は、日頃の喧噪やストレスから自分を解放できるチャンス。連休をとれない方々も是非どこかで長期休暇をとってリフレッシュしてください。働き方改革は、休養と前向きな気持ちからですね。

日付	曜	祝 日
4月27日	土	
4月28日	日	
4月29日	月	昭和の日
4月30日	火	国民の休日
5月1日	水	即位の日
5月2日	木	国民の休日
5月3日	金	憲法記念日
5月4日	土	国民の休日
5月5日	日	こどもの日
5月6日	月	振替休日

# 議長等の活動報告

- 1月2日 平成30年度新見市成人式 [正副議長]
- 3日 新見市新春ロードレース大会 [正副議長]
- 4日 新見商工会議所・経済クラブ新年互礼会  
[議長・総務産建常任委員長]
- 8日 議会広報特別委員会



◀ 出初式後に行われた一斉放水

- 13日 平成31年新見市消防出初式 [正副議長]
- 16日 議会広報特別委員会  
報道関係者と新見市及び新見市議会との懇談会 [正副議長・議運委員長・各常任委員長]
- 17日 地域共生推進センター棟建設工事安全祈願祭 [議長]  
新見医師会新年会 [議長]
- 18日 高梁市近藤市長の父の葬儀参列 (高梁市)  
[副議長]
- 21日 第249回岡山市議会議長会総会 (笠岡市)  
[議長]
- 22日 中国横断自動車道岡山米子線全線4車線化促進市議会連盟要望活動 (東京都) [議長]  
～23日
- 24日 議会運営委員会／議会改革推進会議
- 29日 新見市官公庁等連絡協議会総会 [議長]
- 30日 「第19回森林を考える岡山県民のつどい」第3回実行委員会 (津山市)  
[議長・総務産建常任委員長]

- 2月2日 にいみ福祉フォーラム [文教福祉常任委員長]
- 3日 第50回市長杯スキー大会、第16回市長杯スノーボード大会 [議長]
- 6日 高知県香美市議会教育厚生常任委員会行政視察を受入 [議長]
- 7日 議員定数等検討特別委員会／総務産建常任委員会
- 15日 木質バイオマス発電所建設工事安全祈願祭  
[議長]  
文教福祉常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 22日 議会広報特別委員会／議員定数等検討特別委員会
- 23日 第9回哲西きらめきひな祭り開会式 [議長]



三次人形が350体並ぶ哲西きらめきひな祭り▶

- 25日 平成30年度議会報告会実施報告書を市長へ提出 [正副議長]
- 26日 平成31年3月新見市議会定例会開会
- 28日 平成30年度岡山県共生高等学校卒業証書授与式 [議長]
- 3月4日 議会改革推進会議
- 6日 本会議 (一般質問) / 議会運営委員会
- 7日 本会議 (一般質問)
- 8日 本会議 (一般質問)
- 11日 総務産建常任委員会
- 12日 文教福祉常任委員会
- 13日 予算決算常任委員会／議会改革推進会議
- 14日 予算決算常任委員会／議員定数等検討特別委員会  
議員全員協議会／議会運営委員会
- 18日 議会広報特別委員会  
平成30年度新見公立大学・新見公立短期大学卒業証書・学位記授与式 [議長]  
新見市ウッドスタート宣言書調印式 [議長]



水道事業要望ほか (東京都・総務省ほか) [議長] ～19日

- 19日 文教福祉常任委員会
- 20日 新見市交通安全対策協議会 [議長]  
議会運営委員会
- 22日 議員全員協議会／本会議 (閉会)  
岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟協議 [正副議長]
- 23日 第15回都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会開会式 [議長]
- 24日 第15回都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会始球式 [議長]  
第29回新見少年サッカーフェスティバル [議長]
- 4月2日 議会広報特別委員会
- 5日 松江安来新見間国道昇格期成会同盟監査 [議長]
- 7日 新見公立大学 新・健康科学部開設式 入学式 [議長]

**Q** 本会議では、議案に対して、どうして質疑や議論が少ないのですか？

**A** 本会議場で、どうして質疑・討論が活発に行われないのか、と思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。実は、詳細な審議やそれにもなう議論は、各常任委員会の中で起こっているのです。そこで、予算・決算や条例、陳情などの議案の審議について、その流れを説明します。

《議案審議の主な流れ》

本会議

- ① 議案などを上程（会議にかけること）
- ② 提案理由説明・質疑
- ③ 委員会付託（委任すること）

各常任委員会

- ④ 委員会で議案などの上程
- ⑤ 詳細な説明
- ⑥ 審査（質疑や調査を含めた議論）
- ⑦ 討論（反対・賛成）・表決

本会議

- ⑧ 委員会での審査内容の報告
- ⑨ 委員長報告への質疑
- ⑩ 討論（反対・賛成）・採決

議会 Q & A



本会議の様子



委員会の審査の様子

議案などは、付託された委員会の中で詳細に審査され、委員会内での表決を経て本会議に戻されます。委員会での少数意見は「留保（りゅうほ）」というルールの行使で、意見として尊重されます。委員会ですら審査される議案は次のとおりです。

《常任委員会の主な審査内容》

- 条例の制定・改廃
- 予算・決算
- 請願・陳情
- その他議会の議決が必要な事案

6月定例会(予定)

8日 (月)	3日 (水)	2日 (火)	7月1日 (月)	28日 (金)	27日 (木)	26日 (水)	25日 (火)	24日 (月)	6月14日 (金)
閉会 本会議	議会広報 特別委員会	議員定数等 検討特別委員会	産業建設 常任委員会	文教福祉 常任委員会	総務消防 常任委員会	本会議 予備日	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 開会

編集後記

3月の本会議に文教福祉常任委員会から上程された「子ども条例」が可決され、5月5日のこの日から施行されます。すべての子どもが一人の人格として尊重されその発言に耳を傾け、様々なことへ挑戦できるよう、大人達は応援していかなくてはなりません。これから迫り来る人口減少社会を担っていく子ども達のために、いかに知恵を絞ることができるかが大人達に問われることにもなります。さて、3月末には、議場で議論を交わした部長など9名の方をはじめ25名の方々が退職されました。そのご功績を称え、心から感謝を申し上げます。退職された方々に加え、市民の皆様もともに、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内  
議会広報紙編集係  
〒718-8501  
新見市新見310-3  
電話 0867-72-6151  
FAX 0867-72-6183